

第 50 回 MIUcafe レポート

学生 MIUcafe 「^{まち}盛岡おこしプロジェクト」

1. 企画概要

コラボMIUの学生スタッフが毎年企画し開催している学生 MIU カフェ。

今年は「盛岡（まち）おこしプロジェクト」と題し、盛岡を元気にしようと頑張る方々から話題提供いただき、ブレインストーミングを行いながら、盛岡をもっと元気にする方法を考えました。

ゲストには、岩手大学まちづくりサークル NPCN より鎌田憲武さん、もりおかワカモノプロジェクトより皆川麻梨子さんと高橋駿二さん、千葉由美さんにお越しいただきました。

2. ゲストからの話題提供

・岩手大学まちづくりサークル NPCN 鎌田憲武さん

岩手大学まちづくりサークル NPCN(New Power Creative Network)は、2012年に立ち上げられた、学生の New Power(意欲やアイデア)を引き出しまちに貢献し、その輪を広げていくことを目的として活動しているサークルです。

震災復興で沿岸が頑張っている中、内陸も沿岸を引っ張って盛り上げていく必要があるはずという想いのもとに行ってきた様々な活動を紹介していただきました。岩手大学にゆかりのある上田地域の魅力を多くの人に伝えるべく制作した情報誌“うえだっしょ！！”や、盛岡の夏の一大行事「さんさ踊り」を盛り上げようと取り組んだ“笑顔の街角プロジェクト”についてお話していただきました。現在は、岩手県交通が運営するバス「でんでんむし」に関わる情報誌を作成しているとのことでした。学生や市民を巻き込み、自分たちが主体的にまちを盛り上げるために活動することが大切であると鎌田さんは語っていました。

・もりおかワカモノプロジェクト 皆川麻梨子さん・高橋駿二さん・千葉由美さん

もりおかワカモノプロジェクト(通称もわっふ)は、2010年より学生や若い社会人が鉾屋町界限を中心に活動を開始された団体です。

鉾屋町での手づくり市“てどらんご”や毎回メンバー1名を招いて掘り下げるもわっふインターネットラジオ“つながリング”、メンバー同士の親睦を深めるご飯会など、その他活動を通して、自分たちがいかに盛り上がり、どう地域に貢献していくか。嫌々活動するのでは意味は無く、何より自分たちが楽しむことによって鉾屋町など周囲の人々にも力が伝わり、地域が賑わっていくのだと仰っていました。

もりおかワカモノプロジェクトのモットーは思いきり楽しむこと。その証拠に就職や結婚などで盛岡の地を離れたメンバーも行事の度に戻ってくるとか。今回の学生 MIU カフェ

でも、そんなモットーが色濃くあらわれた和やかな雰囲気の中、お話ししていただきました。

3. ブレーンストーミングについて

「盛岡市内の商店街の利用者を増やすには」というお題でブレーンストーミングを行いました。今回は盛岡市内の上田商店街及び肴商店街において、20代の利用者を2倍にする方法を考えました。

20代の利用者を増加させるということで割引の実施やハード面の整備のアイデアが出されました。そのほかにも、各々の商店街の形状を活かした面白いイベントも提案されていました。

4. 感想

ゲストに来ていただいた4名の方々は、各々が盛岡市や鉾屋町といった活動を展開している場所に対して熱い思いを持っている一方で、その活動地で何をすべきなのかを冷静に考えられる頭脳も持ち合わせている方々だと感じました。

ブレーンストーミングは、とても楽しい雰囲気の中で行うことができました。ブレーンストーミングで出された貴重なアイデアをいかに活かしていくかが、盛岡（まち）おこしの第一歩になるはずですが、現時点で、学生スタッフではその段階まで持っていく準備ができていません。今回の企画が、ご参加いただいた方々にとって、私たちが暮らす盛岡市について何かを考えるきっかけ・刺激になっていれば幸いです。

筆 学生スタッフ

